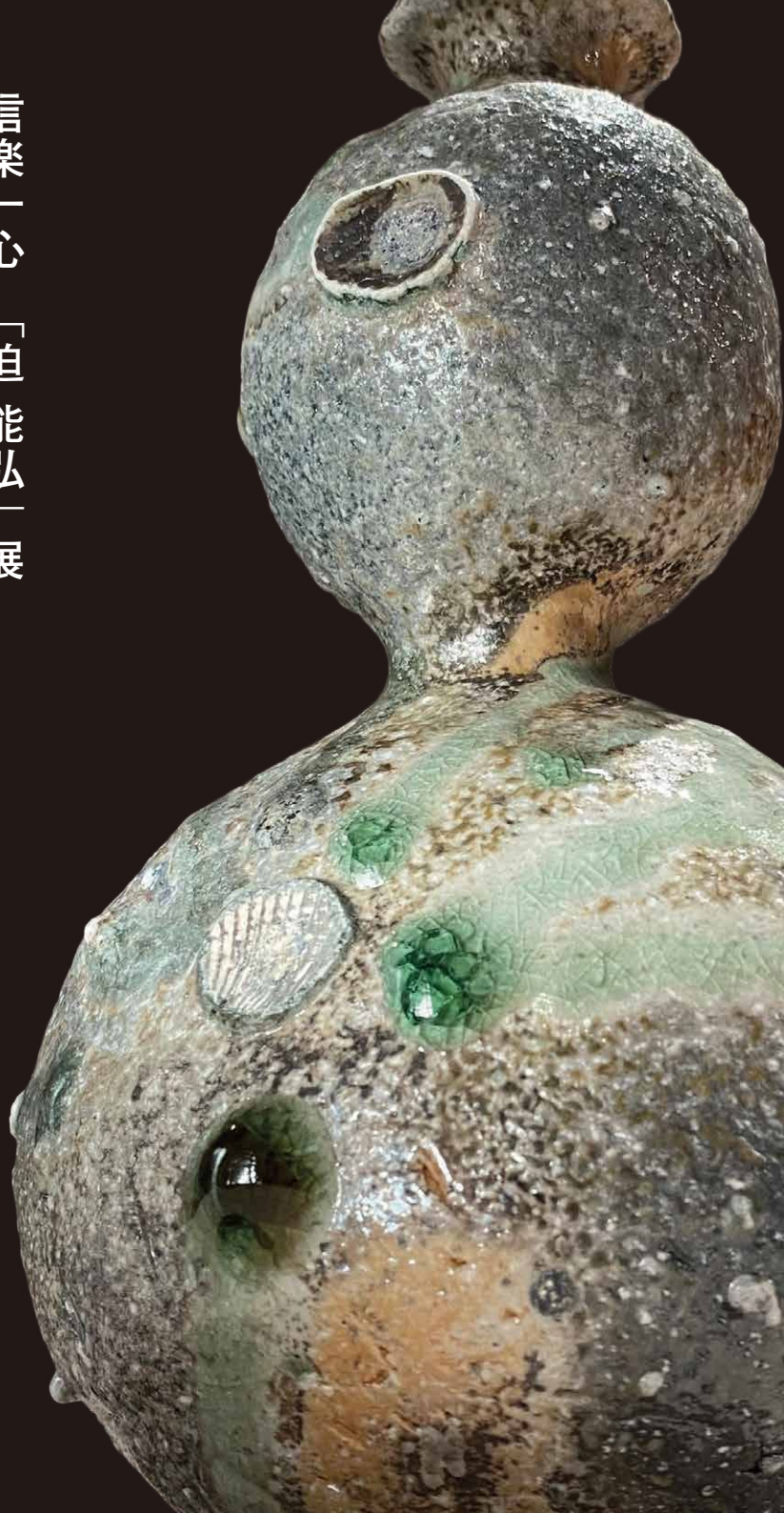


信楽一心「迫能弘」展

うつわや
涼一石



信楽窯変片口
W96-105×H85mm



増上寺

日比谷通り

都営三田線 芝公園駅 A3出口(エレベーター) メルパルク ホール	鳥居	ファミリーマート
	吉野家	
コインP	涼	薬局
	マクドナルド	セブン-イレブン
ホテル		● A6出口
	A3出口 ●	
第一京浜	都営浅草線	大門駅
	● 秋田屋	● 都営大江戸線
	世界貿易 センタービル	
	モレール浜松町駅	文化放送
	JR 浜松町駅	

※ マクドナルド、吉野家の角から約70m。
※ 店舗は細い路地に入って2軒目です。

さこ よしひろ Yoshihiro SAKO
1971年 奈良県桜井市三輪に生まれる
1992年 辻清明氏に師事 陶芸を志す
1995年 石川県立九谷焼技術研修所卒
信楽にて修行開始
2000年 信楽にて独立
2007年 信楽町宮町に移転
2009年 日本伝統工芸展 入選(同15、17、20、22年)
2010年 穴窯築窯
2012年 2基目の穴窯築窯
2018年 日本陶磁協会奨励賞受賞
2020年 日本工芸会正会員認定



信楽窯変ひさご徳利
W93-112×H196mm

うつわや涼一石 (りょういっせき)

店主 栗原浩之
所在地 〒105-0012
東京都港区芝大門2-2-8
TEL 03-3431-6320
Email info@ryoisseki.com
URL http://www.ryoisseki.com

Instagram



信楽一心

「迫能弘」展

2024年 4月20日[土]～4月28日[日]

* 4月25日[木]はお休み

営業時間 11時～19時

作家在廊日(予定) 4月20日[土]、21日[日]



信楽炎色筒花入
W140-145×H240mm



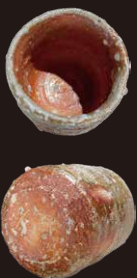
信楽窯変ぐい呑み
W52×H70mm



信楽窯変徳利
W81-84×H152mm



信楽炎色ぐい呑み
W58×H64mm



いつも窯を焚くたびに欲が出て、次はもっといいものを、もっと面白いのが出来ると思う。窯出しでは期待が膨らみすぎて自分としてはがっかりすることが多い。このDMの作品を焼き上げて、生々しい印象が頭の中で生きているまま、またもう一度、窯を焚く。無限にひろがる薪窯の世界に、終わりは無いと感じています。

迫能弘



信楽窯変ひさご徳利
W100-103×H176mm

信楽はあたたかいです。

土の温もりか、ザラついた肌触りなのか、

それともやはり炎を思わせる色合いなのか。

信楽焼の心地よさはこういうことでしょうか。

半面それは作品の表面から伝わること。

本質的には成り立ちや歴史の長さだったり、

作る人の懐の深さでもあるように思います。

迫能弘さんを思うと間違いではないはず。

決して精緻ではないけれど温もりに溢れていて、

ついつい手が伸びてしまうやきものなのです。

近年は焼きの多彩さも目を見張ります。

人気のビードロ系も着実に進化しています。

現代の信楽で焼き締めの信楽焼は実は少数派。

信楽一心に取り組む作品群をご覧ください。

店主